

地理歴史・公民科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法リーフレット

そもそも生徒の「主体性」を引き出す授業をめざしているが…

生徒が「思考・判断・表現」する場面を十分にとれず、「○○についてはこうだ」と説明してしまうことが多い。
⇒【9ページへ】



教科書の内容を網羅的に伝えようとする、生徒が主体的に活動する時間がたりない。
⇒【10ページへ】

このように感じていませんか？

このリーフレットでは、これらの解決のために複数の先生方で試行錯誤し、協議した中でわかってきたことをまとめています。こちらに記載の事例は、あくまで一例ですが、ぜひこれからの実践に役立ててください！

目次

- 実践事例① 地理総合「地図や地理情報システム（GIS）と現代社会」【p.2～3】
- 実践事例② 公共「人間としてよく生きる・他者とともに生きる」【p.4～5】
- 実践事例③ 公共「日本の政治機構と政治参加」【p.6～8】
- まとめ【p.9～10】
- 参考資料【p.11～15】

府立学校 実践事例① 地理総合「地図や地理情報システム（GIS）と現代社会」

単元の目標

学習指導要領を参考に！

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
様々な地図の読図をもとに方位や時差などについて理解する。地図やGISの役割や有用性などについて理解し、それらを用いて情報を収集し読み取り、まとめる基礎的、基本的な技能を身に付ける。	地図やGISについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	地図やGISを用いて、より良い社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

具体的な生徒の姿をイメージ！

単元の評価規準（＝実現したい生徒の姿）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・緯度・経度や時差が生じる理由について理解できる。 ・GISの役割や有用性を理解し、操作することができる。	地図が示す様々な情報を読み取り、目的や用途に応じて地図やGISを使っている。	地図やGISを用いて、地域について防災の視点からとらえ、 災害が起こった場合、どのようにすればよいかを考えよう としている。

☆ この単元（**10時間**）の概要 ☆

緯度・経度や地球の傾き、時差が生じる理由について知識の獲得（**4時間**）

屋外で撮影した地図の特徴・工夫について、読み取れることを自分の言葉で説明するレポートを作成（**3時間**）

GIS『地理院地図』を活用し、学校の緯度や経度、学校から最寄り駅までの距離を計測（**1時間**）

地図やGIS『重ねるハザードマップ』を活用し、地形や防災情報をもとに、4つの物件から一番住みたい物件を選び、その根拠をワークシートに記入（**2時間**）

詳しい単元計画はp.12

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

(1) 評価場面：ワークシート

詳細：「梅田で働くために物件を探そう！」というテーマのもと、4つの物件を比較し、GISや地図を用いて、「家賃」、「通勤のしやすさ」、「水害の受けにくさ」の3つの視点から総合的に判断し、**なぜ**その物件を選んだのかについて根拠を示してワークシートに記入する。

	物件①	物件②	物件③	物件④
家賃	93,000円	84,000円	67,000円	95,000円
通勤のしやすさ				
水害の受けにくさ				



生徒には、住所と家賃のみ提示し、ペット可などの他の条件は提示せず、GISや地図を用いて考えさせた。

(2) 判断基準

「十分満足できる」状況(A)	「概ね満足できる」状況(B)
判断する観点を自分で決定し、GISや地図で 正しく 水害の被害想定を読み取り、総合的な判断の根拠を 具体的に 示している。	GISや地図で 水害の被害想定を読み取り 、総合的な判断の 根拠を示している 。

「努力を要する」状況(C)と判断された生徒に対する支援のてだて

複数の情報を比較させ、自分の考えをもとに判断ができるように支援する。

(3) 評価例

(生徒の記述) **評価B**

水害の可能性はあるが、家賃の安さと駅からの近さから物件③を選んだ。

水害の被害想定を読み取ることができ、根拠を示しているので、「B」と判断。

(生徒の記述) **評価A**

家賃は少し高いが、他の物件と比較をして見ると、我慢できる。駅まで近い方が良いが、慣れれば大丈夫なので、一番の決めてを水害の受けにくさにすることにした。**ハザードマップを確認して高台に位置し**、防災の視点から**水害を受けにくい立地環境**であることが分かったので、物件④を選んだ。

判断する観点を自分で決定し、ハザードマップなどを確認するという学習過程が読み取れる。また、水害の被害想定を立地環境から判断し、根拠を具体的に示しているので、「A」と判断。

府立学校 実践事例② 公共「人間としてよく生きる・他者とともに生きる」

単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。	収集した情報を適切かつ効果的に読み取り、読み取った情報を効果的にまとめ、「公共性」の考え方に基づいて判断できるようになる。	現在生じている諸課題や、起こりうる課題について、他者との対話を通して、合意形成を図ろうとする。

単元の評価規準（＝実現したい生徒の姿）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・功利主義や義務論などの概念について、ペアワークやスライド作成を通して理解することができる。 ・「公共性」の考え方について、資料の読解やグループワークを通して理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・功利主義や義務論などの概念を現代の事象に当てはめて考えることができる。 ・哲学的な概念を用いて自らの考えをまとめ、表現することができる。 ・グループワークにおいて「公共性」の考え方に基づいた判断をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解するために、自分の言葉を用いて要点をまとめようとしている。 ・自らの意見を主張するだけでなく、他者との対話を通して、獲得した「公共性」の概念を用いて合意形成を図ろうとしている。

☆ この単元（6時間）の概要 ☆

ベンサム「功利主義」、カント「義務論」、ロールズ「公正としての正義」の概念の獲得（2時間）

「大規模開発」について、獲得した概念を用いて「賛成」「反対」の理由をスライドにまとめる（1時間）

スライドを用いて相互発表、振り返り（1時間）

ハーバーマス、アーレントの「コミュニケーション」「公共性」、ヘーゲル「相互承認」「止揚（アウフヘーベン）」の概念の獲得（1時間）

新たに獲得した概念を用いて、合意形成が図れるようにワークシートを作成（1時間）

詳しい単元計画はp.13 4

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

(1) 評価場面：ワークシート

詳細：「大規模開発」について賛成・反対の理由をまとめたスライドを振り返り、「**どのように**すれば賛成・反対のそれぞれの立場の町の人たちは納得して生活することができるのだろうか？」という問いに対して、「公共性」の概念を用いて、**よりよい解決に向けて**自分の考えをワークシートに記入する。

(2) 判断基準

「十分満足できる」状況(A)	「概ね満足できる」状況(B)
対立の原因を分析したうえで、合意形成をめざし、相互の立場が納得する方法をまとめたうえで、 相互の利益が最大となるような提案 をしようとしている。	対立の原因を分析したうえで、合意形成をめざし、 相互の立場が納得する方法をまとめている 。

「努力を要する」状況(C)と判断された生徒に対する支援のてだて
合意形成をするために必要な協働的な態度について説明する。

(3) 評価例

(生徒の記述) **評価B**

住民のみんなが納得するためには**話し合いが大切**だと思います。少ない人たちで話し合うのではなく、**大人数の意見をきくこと**が大切だと思います。これからは住民のみんなが仲良くしていけばいいのかなと思いました。

話し合いや大人数の意見を聞くことを、両方の立場が納得する方法としてまとめることができているので「B」と評価

(生徒の記述) **評価A**

納得できない原因は、**事前のコミュニケーション不足**にあると思います。なので、**事前にデメリットなどをしっかり説明する**必要があったと思います。また、大規模開発を実施する場合は大規模開発によってできた**大型ショッピングモールのなかに地域住民のコミュニティを維持できる施設を作ることで納得してもらえらるとともに、町も豊かになる**のではないかと思います。

単に賛成・反対でとどまらず、2つの意見を統合することで町をよくするアイデアを提案することができているので「A」と評価

単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
政治機構や公正な世論の形成、地方自治について議論を通して理解を深め、諸課題に関わる諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。	法や政治についての具体的な主題をもとに、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決にむけて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、根拠を持って表現する。	現在生じている諸課題や、起こりうる課題について他者との対話を通して、多面的・多角的にとらえようとする。また、現代の課題を自分事としてとらえようとする。

単元の評価規準（＝実現したい生徒の姿）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・三権分立とそれぞれの機関について理解している。 ・市民の政治参加について、議論を通して理解を深める。 ・予算に関する図表などをみてまとめることができる。 	社会参画の力を育むために、SNS投稿案の作成を通して、事実に基づき自分の意見を表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・司法と市民の関わりについて考えようとしている。 ・社会参画の力を育むために、与えられたテーマについて、他者との対話を通して、様々な立場からとらえようとしている。

☆ この単元（9時間）の概要 ☆

三権分立について、知識を獲得（2時間）

弁護士講話を通して、「司法が現実社会でどのように機能しているか」について考える（1時間）

大阪市の予算や各地の条例、住民投票、地方自治の重要性、政党政治、選挙制度について知識を獲得（2時間）

「なぜ若者は政治への関心が低いのか」について考える（1時間）

与えられたテーマについて、個人ワークシートを作成しグループで共有後、SNS投稿案を作成する（2時間）

単元を通して学んだことを整理し、自分で「#」を付けたテーマを設定し、新たな問いを考える（1時間）

詳しい単元計画はp.14

単元で配付した資料

公共 振り返りシート 1年組 番名前()

三権分立	お題 司法に国民が関わる意義とは何か?
月 日 ()	
地方自治	お題 大阪市が住みやすい街になるために必要なことは何か?
月 日 ()	
政党政治	お題 与党、野党にして欲しいことは何か?
月 日 ()	
選挙制度	お題 なぜ若者は政治への関心が低いのか?
月 日 ()	
パフォーマンス 課題	お題 SNS 投稿案を作り、他人の投稿案から考えたことは何か?
月 日 ()	
世論と 政治参加	お題 SNS 投稿案について、「#」を付けたいお題は何か?
月 日 ()	

個人ワークシート

(1) 指定されたテーマに○をつけよう。

少年法の厳罰化 難民の受け入れ オーバーツーリズム

(2) 「テーマの内容」「テーマの課題」について調べてまとめよう。

単元学習前に、振り返りシートを配付し、**単元の見通し**を立てさせた。お題は空欄にし、内容が終わった時に提示した。単元全体における生徒の学びの変容を確認することができた。

(3) 調べた内容を多面的・多角的にメリット・デメリットを整理しよう。

多面的・多角的・・・いろいろな人の立場にたつ

多面的・多角的な視点の例

両親・被害者・子ども・若者・高齢者・近くに住む人・当事者

メリットやデメリット

例) 子どもの視点に立って考えると、△△ということは、大きな(デ)メリットだ。

グループで共有する前に、個人で**多面的・多角的な視点**から調べた内容についてメリット・デメリットを整理させるようにし、グループワーク後に他者の考えを踏まえて加筆するようにさせた。

単元の最後に考えたことをさらに深められるように、自分で「#」を付けたいお題を考えさせるという、「**問いで始まり問いで終わる**」形式をとった。

グループワークシート

(1) 班のメンバーの名前を記入しよう。

(2) 指定されたテーマに○をつけよう。

少年法の厳罰化 難民の受け入れ オーバーツーリズム

(3) 各テーマについて、班のメンバーが調べた内容をもとにメリット・デメリットを多面的・多角的にまとめよう。

メリット	デメリット
例) 子どもの視点に立って考えると、△△ということは、大きなメリットだ。	

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

(1) 評価場面：ワークシート

※思考・判断・表現を一体的に評価

詳細：選挙や請願といった公的なものだけでなく、SNSへ投稿し、意見を表明することも、現代の社会参画方法のひとつとなっていることを踏まえて、与えられたテーマから1つ選び、そのテーマについて、個人ワークシートを作成しグループで共有後、SNS投稿案を作成する。

(2) 判断基準

「十分満足できる」状況(A)	「概ね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)と判断された生徒に対する支援のてだて
視点の例をもとに、 さまざまな立場から考え 、検索した情報に基づき、 メリット・デメリットを整理 して、その 解決策 について、 自分の考えを発信 することができる。	視点の例をもとに、 1つの立場から考え 、検索した情報に基づき、 自分の考えを発信 することができる。	検索した情報についてどのように考えるかを問いかけ、自分の考えを発信できるように支援する。

(3) 評価例

(生徒の記述)

評価B

テーマ：「少年法の厳罰化」

メリット、デメリットを整理してまとめた内容：

被害者家族の立場になって考えると、**2022年4月から特定少年の厳罰化が施行**され、**犯人の実名や写真などの報道が許された**ことは、大きなメリットだ。

被害者家族の立場（視点）から考え、検索した情報に基づき考えることができているので、「B」と判断

(生徒の記述)

評価A

テーマ：「オーバーツーリズム」

メリット、デメリットを整理してまとめた内容：

地域住民の立場では、**マナー違反や交通混雑**につながるというのがデメリットで、**観光業者や行政の立場**では、**経済効果**があるのがメリットだと考えられる。**経済効果により地域住民の雇用創出につながれば**、地域住民も納得できるかもしれない。長野県松本市の旅館では、収益を地域に還元できるように、料理に使う食材の約8割を地元から調達している。このように、「**観光客に満足してもらい、地域住民が許容できる観光**」をめざしていくことで、**オーバーツーリズムのマイナス面を小さくし、プラス面を大きくすることができる**と考える。

地域住民、観光業者、行政など、さまざまな立場（視点）から考え、メリット・デメリットを整理し、オーバーツーリズムの解決について考えることができているので、「A」と判断

「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法



「社会的な見方・考え方を働かせ課題（公民科の場合は「現代の諸課題」）を追究したり解決したりする活動」を「単元の指導と評価の計画」の中に適切に設定する！

「生徒にどのような力を身につけさせたいか」が決まれば、考察に必要な知識等の伝達にどれだけ時間をかけたらいいか、見えてくるのではないのでしょうか。

「これは何年に起こった。そのため〇〇になった」と、知識をすべて教えるのではなく、「これはなぜ起こったのか？」のような「問い」に変換することで、「地理歴史・公民科 = 暗記科目」というイメージを払拭して「問いで始まり問いで終わる」授業をめざしていきましょう！1つの「問い」をきっかけに新たな「問い」が生まれてくるかもしれません。

生徒が主体的に「問い」について考え、試行錯誤するような「粘り強い取り組み」、「自己の学びを調整しようとしている姿」を「主体的に学習に取り組む態度」として評価してあげましょう！

☆ 単元の指導と評価の計画を考えるポイント ☆

- その単元で「生徒にどのような力を身に付けさせたいか」が明確になっていますか？
- 生徒のこれまでの学習状況を把握したうえで、生徒にとって適切な課題（問い）を設定していますか？
- 生徒が、学んできた知識を活用し、自分の言葉を用いて考えることができる場面を設定していますか？
- 小テストや振り返りシートなど、自分の学びを振り返ることができる場面を設定していますか？
- 目標→評価規準・方法→授業での活動の順に考えられていますか？

最後に…

- 「なぜこの活動をするのか」「単元学習後にこのような姿になって欲しい」といった、教員の考えを生徒に共有できていますか？

参考資料

(1) 実践事例①の単元計画

地理総合「地図や地理情報システム（GIS）と現代社会」

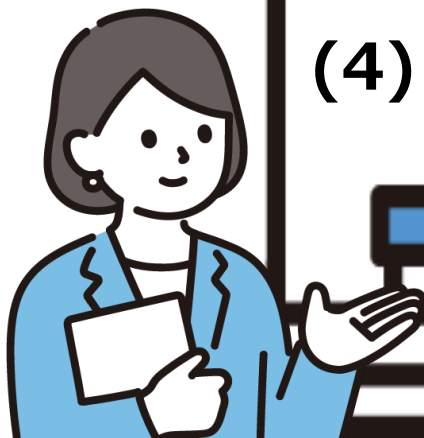
(2) 実践事例②の単元計画

公共「人間としてよく生きる・他者とともに生きる」

(3) 実践事例③の単元計画

公共「日本の政治機構と政治参加」

(4) 文部科学省や府教育庁等が作成した資料やWebサイトの紹介



参考資料(1) 府立学校 実践事例① 地理総合「地図や地理情報システム（GIS）と現代社会」

単元の指導と評価の計画案（全10時間） ●…形成的評価、○…総括的評価

※本事例では、「知識・技能」の総括的評価については、定期考査で行った。

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1 ～ 4	地球上の位置 時差の仕組みと活用	緯度・経度・本初子午線・北（南）回帰線・極圏を理解する。 クイズ形式で時差が生活に与える影響を考える。	●	●		地球の傾きや緯度、経度、時差が生じる理由について理解している。【知】（ワークシートの記述） 「白夜」「極夜」が起こる理由を説明することを通して緯度・経度や地球の傾きが生活に与える影響を考えられるようになる。【思】（ワークシートの記述）
5 ～ 7	地図の種類と活用	目的に適する地図はどれかをについてペアワークで考える。 屋外で地図（主題図）の写真を撮り、地図の特徴をレポートにする。	●	○	○	地図の違いを理解し、用途に応じて使い分けられるようになる。【知】（観察） 写真を撮った地図について、レポートでまとめることができる。【思】（レポートの記述） 撮影した地図（主題図）に関して、地図の特徴・工夫について自分の言葉で説明することを通して、地図についての関心を高め意欲的に活用しようとする。【主】（レポートの記述）
8	地理情報システムの利用	地理院地図を使って、GIS の活用方法を理解する。	●			地理院地図を目的に応じて使えるようになる。【知】（観察）
9 ～ 10		「部屋探し」を防災の視点を取り入れてグループワークで学ぶ。			○	<u>GISを活用して、住みたい物件について調べ、説明することを通して、自分の地域の防災についてとらえようとする。【主】（ワークシートの記述）</u>

参考資料(2) 府立学校 実践事例② 公共「人間としてよく生きる・他者とともに生きる」

単元の指導と評価の計画案（全6時間） ●…形成的評価、○…総括的評価

※本事例では、「知識・技能」の総括的評価については、定期考査で行った。

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1	ベンサム「功利主義」とカント「義務論」	ベンサムの「功利主義」とカントの「義務論」という対照的な2つの概念を用いて、尊厳死について考える。		●		概念的フレームを用いて現代の諸課題について考え、隣の生徒に対して表現することができている。【思】（観察）
2	ロールズの「公正としての正義」	カント、ベンサムに加えてロールズの「公正としての正義」について理解し、3人の考え方について、最も共感できるものについて考える。 ※思考力・判断力・表現力をはかるためにテストを実施		○	○	人物の思想を事例に当てはめて考えることができている。【思】（小テスト） 3人の考え方を理解するために、自分の言葉を用いて要点をまとめようとしている。【主】（ワークシートの記述）
3	「大規模開発」について	（カント、ベンサム、ロールズの考えを用いて） 「大規模開発」の是非について、協働的に学習し、一人ひとりが自分のスライドを作る過程で、概念を用いた上で、自らの意見を論理的に説明する力をつける。		○		概念的フレームを用いて、自らの意見を論理的に述べ、自分の意見だけでなく他者の意見を踏まえて考え、表現することができている。その際、与えられたフォーマットに沿って自らの意見を論理的に説明することができる。【思】（パフォーマンス課題の作成）
4	カント、ベンサム、ロールズのまとめ	相互の発表と振り返りシートの記入を通して、自らの学びを振り返る機会をつくる。			○	スライドの発表を通して、他者理解を深めようとしている。【主】 相互発表の内容から、自らの学びを振り返ろうとしている。【主】（振り返りシートの記述）
5	「公共性」について	ハーバーマスとアーレントを学ぶことによって、コミュニケーションの重要性を理解する。その際、「公共性」という語句について、深く理解する。	●			ハーバーマス、アーレントの考えから、コミュニケーションの重要性や「公共性」を理解している。【知】（観察）
6		「論理的に説明する」ことだけでは互いに納得して合意形成ができないことを理解し、コミュニケーションを取り合意形成を図る重要性を理解する。	●	○		「公共性」に基づいた判断ができている。【思】（観察） ハーバーマス、アーレントの考えを理解し、他者とのコミュニケーションから合意形成を図ろうとしている。【主】（ワークシートの記述）

参考資料(3) 府立学校 実践事例③ 公共「日本の政治機構と政治参加」

単元の指導と評価の計画案（全9時間） ●…形成的評価、○…総括的評価

※本事例では、「知識・技能」の総括的評価については、定期考査で行った。

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1 ～ 2	三権分立	教科書を用いて三権分立の図表を自身でまとめ、「国会」「内閣」「裁判所」のそれぞれの役割について理解する。 「裁判所」の違憲審査権行使のあり方について、「民主主義」と「立憲主義」の立場から考える。		●	○	三権分立について理解し、裁判所の違憲審査権行使のあり方について、「民主主義」と「立憲主義」の立場から考えることができる。【思】（ワークシートの記述） 裁判に参加する意義について、自分の言葉でまとめようとしている。【主】（振り返りシートの記述）
3	弁護士講話	弁護士講話を通して、司法がどのように機能しているかを理解し、自分事として考える。	●			自分の周りの出来事と関連付け、司法が現実のなかでどう機能しているかを理解している。【知】（観察）
4 ～ 5	地方自治と住民福祉	「住民自治」「団体自治」などの概念について理解し、地方自治の役割について理解する。 大阪市の予算を見て、「お金」と「政治」について理解する。		●	○	政党政治のメリット・デメリットを国民目線で考えることができる。【思】（ワークシートの記述） 地方自治体の予算に関する図表を読み取り、条例や住民投票の例から地方自治の重要性について考え、自分事としてとらえようとしている。【主】（振り返りシートの記述）
6	選挙制度	日本の選挙制度について理解する。	●		○	日本の選挙制度について理解している。【知】（ワークシートの記述） なぜ若者は政治への関心が低いのか、考えようとしている。【主】（振り返りシートの記述）
7	パフォーマンス課題 SNS投稿案を作成	テーマを選び、「個人用ワークシート」に自分の意見をまとめる。			○	「多面的・多角的」に1つのテーマについて調べることができている。【主】（ワークシートの記述）
8		「個人用ワークシート」をもとに、班に分かれて意見を交流したのち、SNS投稿案を作成する。		○		自分の考えを根拠に基づき、SNS投稿案を作成することができている。【思】（ワークシートの記述）
9	世論と政治参加	世論の形成と政治参加について理解し、選挙だけでなく、様々な社会参画のあり方があることを理解する。 単元を通して学んだことを整理し、自分でテーマを設定し、新たな問いとしてSNS投稿案を考える。	●		○	様々な社会参画のあり方について理解している。【知】（観察） 単元を通して学んだことを整理して、新たな問いを考えようとしている。【主】（振り返りシートの記述）

参考資料(4) 文部科学省や府教育庁等が作成した資料やWebサイトの紹介

まずは、高等学校学習指導要領からご覧ください。地理歴史・公民科の目標や、科目の位置づけなどが記載されています。また、解説には、さらに詳しい内容が書かれています。**問いの例や問いを考える上での視点**など、具体的な事例が掲載されています。

- ・ 高等学校学習指導要領解説 地理歴史編

https://www.mext.go.jp/content/20220802-mxt_kyoiku02-100002620_03.pdf

- ・ 高等学校学習指導要領解説 公民編

https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_04.pdf

- ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校編）地理歴史

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_chirirekishhi.pdf

- ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校編）公民

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_koumin.pdf

- ・ 「観点別学習状況の評価」実施の手引き 各教科事例集

<https://www.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/pdf/kanntenbetsu%20.pdf>

観点別学習状況評価について、ペーパーテストやパフォーマンス課題での評価規準の例が記載されています。

